

主催 宇都宮大学

共催 NPO法人自然史データバンクアニマnet

後援 栃木県 栃木県教育委員会 下野新聞社

自然に学び 地域をデザインする

大地の学校

平成28年 9月13日 (火曜日)

午後1時から5時まで

会場 宇都宮大学 峰ヶ丘講堂 (峰キャンパス)

対象 一般、学生 (会場定員 180名)

参加 無料 (申込要項は裏面をご覧ください。)



大地の学校

開催主旨

—自然に学び 地域をデザインする—

宇都宮大学は、「挑戦・変革・貢献 (Challenge、Change、Contribution)」を宇大スピリットとして掲げた教育・研究・地域貢献活動を行っています。

2016年4月には、これからの時代にふさわしい新たな「地域の知の拠点」形成を目指し、「地域デザイン科学部」が開設されました。

宇都宮大学が立地する栃木県には、都市・農村・里山・奥山に至る、多様なフィールドが広がっています。こうした栃木の自然に学ぶとともに、持続可能で豊かな地域をデザインするため、これからの学びと研究、人づくり、実践的な活動はどうあるべきか、本シンポジウムを通じて考えてゆきたいと思えます。

このため、学問・文化領域で著名な活動をされている方、地域の実践活動を行っている方をお招きしてご講演いただくことにしました。本シンポジウムは、新設の地域デザイン科学部と、伝統と実績のある農学部が中心となって開催いたします。

平成28年9月

大地の学校 シンポジウム実行委員会

プログラム

進行状況により時間変動がございます。(敬称略)

13:00 ~13:20 開会宣言 地域デザイン科学部長 塚本 純
式辞 宇都宮大学長 石田 朋靖

来賓祝辞 栃木県教育委員会教育長 宇田 貞夫

13:20 ~13:40 栃木県の民話 伝承と唄

■ 美寿々すみ子 (民謡民話美寿々会 主宰)

13:40 ~14:20 ミジコからみた地域

■ 坂田 明 (サクソ・クラリネット奏者 ミジコ研究家)

14:20 ~14:50 栃木県の里山における環境教育

■ 崎野 隆一郎 (ツインリンクもてぎハローウッズ アニマnet副代表)

15:00 ~15:40 地域実践教育研究活動の紹介(ポスターセッション)

①高等学校の取り組み ②栃木県教育委員会の取り組み ③地域デザイン科学部の取り組み ④農学部の取り組み ⑤大学と連携したNPO活動

15:40 ~16:30 昆虫からみた地域

■ 養老 孟司 (東京大学名誉教授 解剖学者 アニマnet名誉理事)

16:30 ~17:00 自然に学び地域をデザインする(パネルディスカッション)

17:00 閉会宣言 農学部長 夏秋 知英



美寿々 すみ子

栃木県の民話唄語り部
民謡民話美寿々会 主宰

東京生まれ。終戦前年に栃木市に疎開。昭和52年民謡美寿々会を開設。（齊藤京子・佐々木基晴に師事）。平成5年11月13日地域貢献を謳い「民話美寿々会創立」。平成6年、第9回国民文化祭みえ94『民話部門』に参加出演。平成8年尾島利雄先生より芸名「美寿々すみ子」を拝命する。また民謡経歴を活かし、唄語り部にと薦められる。平成9年栃木県経済同友会より「社会貢献活動奨励賞」を受賞。



坂田 明

サクソ・クラリネット奏者
ミジンコ 研究者

広島県呉市出身。広島大学水畜産学部水産学科卒業。東京薬科大学生命科学部客員教授。

72年「山下洋輔トリオ」に参加。メルス・ニュージャズフェスティバル、ベルリン・ジャズフェス、プラハ・ジャズフェス、ワルシャワ・ジャズフェス、モントルー・ジャズフェス、ニューポート・ジャズフェス等、様々なフェスティバルに出演。03年、長年にわたるミジンコの研究普及活動が認められ、日本プランクトン学会より特別表彰される。主な著書に、『ジャズ西遊記』（晶文社）、『ミジンコの都合』（日高敏隆共著、晶文社）、『クラゲの正体』（晶文社）、『ミジンコ道楽～その哲学と実践』（講談社）『瀬戸内の困ったガキ』（晶文社）など。DVD作品に、『ミジンコ 静かなる宇宙（MIJINKO: a Silent Microcosm）』（企画、撮影、音楽）（製作：テレコムスタッフ、販売：ジェネオン・エンタテインメント、英訳：花里孝幸信州大学教授）、監修：Stanley I. Dodson（ウィスコンシン大学教授）



崎野 隆一郎

ツインリンクもてぎハローウッズ
森のプロデューサー アニマnet副代表

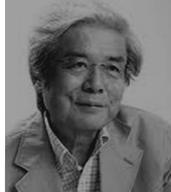
鹿児島生まれ。

大雪山国立公園内の然別湖畔に移住、冬季湖上に氷上露天風呂、アイスバー、氷上ミュージアム等を設計建設。然別湖コタン運営企画に携わる。

1999年 本田技研工業(株)新プロジェクト自然活用アドバイザーとして参画。

2002年 夏より自然の中で30泊31日を過ごす『ガキ大将の森キャンプ』を実施。様々な昆虫や動物の隠れ家、棲み家となる『生命(いのち)の塔』を設計、建設し、一般参加者と共に里山の森の再生・保全をプログラムに盛り込んだ『森づくりワークショップ』を実施する。

2008年4月には森を躍動的に観察することを実現した新しい施設森のジップラインムササビの企画プロデュースをするなど自然案内のプログラムリーダーとして活動。



養老 孟司

東京大学名誉教授 解剖学者
アニマnet名誉理事

神奈川県出身。東京大学医学部卒業。

同大学院博士課程修了。95年東京大学医学部教授を退官。北里大学教授。東京大学名誉教授。専門は解剖学。2001年環境省「二一世紀『環の国』づくり会議」委員に。

主な著書：『唯脳』（青土社）、『形を読む』（培風館）、『バカの壁』（新潮新書）、『養老孟司の〈逆さメガネ〉』（PHP新書）、『からだの見方』（筑摩書房）、『身体の文学史』（新潮社）。

その他、社会時評から科学論、文学論まで多数。

お申込方法（大地の学校 事務局）

FAX、またはメールにて事前申込みになります。ご住所、ご連絡先など必要事項をお知らせください。定員になり次第、受付を終了させていただきます。＜当日は会場受付まで、開演の15分前までにお越し下さい。＞

お申し込み先 メールアドレス：nousomu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

◆ メールのはじめは「シンポジウム申し込み」として下さい。

フリガナ	ご連絡先 TEL :
お名前	Fax :
	E-mail :

ご同伴者氏名（ 名）



お申し込み先 FAX : 028-649-5401

